

2025～2026年度 行動計画・目標

1. 理事会

定例理事会：毎月第3例会もしくは第4例会終了後開催

臨時理事会：緊急に諮るべき議案が生じた時開催

2. クラブ委員会（各委員会の開催は、年2回以上を目標とします）

クラブ奉仕委員会

・出席・ニコニコBOX委員会

例会の出席率が向上するための企画・運営をする。

ニコニコ投入額の増進及び奉仕活動への積極的支援する。

・プログラム委員会

ゲスト卓話、会員卓話を積極的に企画し例会の充実を図り会員が

知識の向上を図れる様な出席したくなる様な運営に努める。

有為な例会や学びの場、有意義な時間を共有できるよう企画をする。

・ロータリー家族親睦委員会

ロータリー活動を日頃よりご理解いただき支えてくださるご家族に報いる企画・運営をする。また、新入会員やその家族と親睦を深められ企画・運営をする。

SAAと連携し、家族同士の親睦がより一層深まる様な夜間家族例会

（納涼祭、新年会、家族観劇会）の実施ならびに65周年記念式典の運営協力をする。

情報委員会

・クラブ会報委員会

読みやすく親しみやすい会報と広報誌の作成、デジタル化の促進をする。

・クラブSNS委員会

公共イメージ向上のため、SNS等を活用して発信し、認知度向上を図る。

My Rotaryへの登録を目標100%とする。

クラブのウェブサイトとソーシャルメディアを管理する。

ホームページの更なる充実に努め広報誌を発行し地域での認知を高める。

会員組織委員会

・会員増強・選考委員会

純増2名を達成する。

・職業分類・研修委員会

職業分類の見直しと未充填の補完を行う。

新人会員及び入会5年未満の会員の研修を2回以上行う。

奉仕プロジェクト委員会

・職業奉仕委員会

職業を通して奉仕活動の実践をはかる。企業見学会を実施する。

先進企業・会員 企業への訪問を実施して異業種の理解を深める。

・社会奉仕委員会

地域で行われている慈善活動やクラブ、地元の祭りに協賛、協力を継続して行い、地域社会に貢献する。

・青少年奉仕委員会

青藍泰斗高等学校インターアクトクラブにポリオ撲滅支援としてペットボトルのエコキャップ回収活動を支援する。

青藍泰斗高等学校インターアクトクラブと毎年恒例の、足尾の植樹に参加支援する。高校生及び一般RYLA参加募集及び参加を継続して支援する。

当クラブより輩出の地区委員への支援・協力を全面行う。

・国際奉仕委員会

佐野市国際交流協会等との連携及び支援をする。

ロータリー国際大会（台湾）への参加を積極的に促進する。

ロータリー財団支援委員会

・ロータリー財団委員会

地区補助金の申請と寄付のお願いをする。

年次寄付 一人150ドル ポリオ・プラス 一人30ドルの達成をする。

7月と12月に半期分ずつ寄付をする。

・米山記念奨学会委員会

普通寄付 一人 5,000円（地区目標）の達成をする。

特別寄付 一人 14,000円（地区目標）の達成をする。

7月と12月に半期分ずつ寄付をする。

SAA

緊張感のある中にも笑いのある、充実した全員参加型の例会運営に努める。

例会の席順を年4回変更し、会員同士の親睦を図りスムーズな運営を行う。

家族親睦委員会と連携し、家族にも喜ばれる夜間家族例会（納涼祭、新年会、家族観劇会）に実施ならびに65周年記念式典の運営協力をする。

近隣クラブとの楽しく和やかな合同例会の計画、実施をする。

65周年記念実行委員会

65周年記念事業として、記念式典ならびに記念事業の推進・主導的運営をする。

3. **クラブ協議会**（クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。すべてのクラブ会員は、協議会に出席することが強く奨励されている。クラブ会長、もしくは指定された他の役員が、クラブ協議会の議長を務める。）

第1回 6月 前年度の事業報告、本年度の目標及び事業計画について

第2-1回 7月 目標・事業計画について（常任委員長）

川上卓也 クラブ奉仕委員長

中本勝雄 情報委員長

松原維一郎 会員組織委員長

永井治寿 奉仕プロジェクト委員長

蓼沼大介 ロータリー財団支援委員長

第2-2回 7月 目標・事業計画について

保科純一郎	出席・ニコニコ BOX 委員長
土屋 登	プログラム委員長
中本勝雄	ロータリー家族親睦委員長
石澤洋幸	クラブ会報委員長
田中幸弘	クラブ SNS 委員長

第 2-3 回 8 月 目標・事業計画について

松原維一郎	会員増強・選考委員長
福島秀治	職業分類・研修委員長
蓼沼大介	ロータリー財団委員長
飯塚達郎	米山記念奨学会委員長
関塚保雄	SAA 委員長
片柳克敏	65 周年記念実行委員長

第 2-4 回 9 月 目標・事業計画について

本島佳明	職業奉仕委員長
高橋竜馬	社会奉仕委員長
相子正幸	青少年奉仕委員長
中田英昭	国際奉仕委員長

第 3 回 1 月 本年度事業の進捗について（常任委員長）

川上卓也	クラブ奉仕委員長
中本勝雄	情報委員長
松原維一郎	会員組織委員長
永井治寿	奉仕プロジェクト委員長
蓼沼大介	ロータリー財団支援委員長

4. **クラブフォーラム（クラブ討論会）**（クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の五大奉仕の中から問題を取り上げ、その実施、推進について、全会員が討論して進路を見出そうとする会合である。会員の公式会合。）

8 月	川上 卓也	クラブ奉仕委員長
10 月	高橋 竜馬	社会奉仕委員長
1 月	本島 佳明	職業奉仕委員長
2 月	中田 英昭	国際奉仕委員長
5 月	相子 正幸	青少年奉仕委員長

5. **重要課題**

① 会員増強及び退会防止 純増 2 名を達成する。地域の人たちにロータリークラブの奉仕活動をより理解していただくために、奉仕活動の情報をより多く発信し、現在必要とされている奉仕の情報を的確に収集し、より良い活動が出来るようにしていく。

退会防止では、委員会及び会員の活動の活性化をしながら、新会員への手厚い指導をする。

② 例会プログラムの充実

・プログラム委員長と SAA との連携を密にして、例会の充実と盛り上がりを目指す。

ゲスト卓話の積極的採用、会員卓話、地区役員、新人会員の卓話、3分間スピーチ等を月2回以上実施し出席率向上を目指す。

・職業奉仕委員会と協力のうえ、一回以上の企業見学例会の実施

③青少年奉仕

青藍泰斗高等学校インターアクトクラブとの、足尾植樹祭、ポリオ撲滅活動への参加協力や合同例会を実施する。

④ロータリー財団への協力

年次寄付 会員一人150ドル、ポリオ・プラス30ドルの達成
恒久基金（ベネファクター）1名以上の達成

⑤米山記念奨学会への協力

会員一人19,000円の達成

⑥近隣クラブとの交流（田沼RC）

⑦子どもの貧困について、関係者を招き現状問題を把握する

6. 特別休会日・振替休会日

祝日 9月23日・5月5日

特別休会日 8月12日・12月30日・1月6日

振替休会日 10月28日(9月28日地区大会)・2月10日(2月7日IM)

4月28日(4月25・26日春の植樹デイ)・5月26日(65周年記念式典)